

就労準備支援事業における令和5年度の実績報告及び令和6年度の進捗状況

項目	令和5年度の実績	令和5年度の実績	令和6年度の実績	令和6年度の進捗（7月末時点）
地域での居場所・役割	<p>①若者相談センターアサガオ親の会と継続して連携する。</p> <p>②訪問支援（アウトリーチ）等による早期から継続的な個別支援を実施する。</p> <p>③つどい場くろまつで就労系のセミナーを取り入れながら、プログラムの充実を図る。</p> <p>④ひだまりの会へ参加し、ご家族との関わりをもち、当事者へのアプローチを検討していく。</p>	<p>【実績】</p> <p>①つどい場「くろまつ」で講師を招き、体操プログラムや月に1回就労系のセミナーを実施。ビジネスマナーやPCを使った実務的な内容もあり、昨年度よりプログラムの充実が図れた。</p> <p>②若者相談センターアサガオからつながったケースで、本事業利用を経て、1件就労に結びついた。</p> <p>【評価】</p> <p>①つどい場「くろまつ」で実施するプログラムが増えることで、参加者のニーズに合わせてプログラムが実施でき、就労を考えている方、まずは定期的に通うことを考えている方など段階に合わせたプログラムの実施が可能。</p> <p>②若者相談センターアサガオと継続して連携することで、潜在的な対象者との関わる機会が増加した。</p> <p>【課題】</p> <p>①一歩を踏み出すことが難しい方もおられるので、引き続きニーズに合わせてながらプログラムを考えていきたい。</p>	<p>①若者相談センターアサガオ親の会と継続して連携する。</p> <p>②訪問支援（アウトリーチ）等による早期から継続的な個別支援を実施する。</p> <p>③つどい場くろまつで就労系のセミナーを取り入れながら、プログラムの充実を図る。</p> <p>④ひだまりの会へ参加し、ご家族との関わりをもち、当事者へのアプローチを検討していく</p>	<p>【実績】</p> <p>①若者相談センターアサガオ親の会に2回参加。</p> <p>②ひだまりの会に参加しているご家族を通じてひきこもり当事者の方が作ったTシャツを販売することで間接的に関わりを持つ機会ができた。</p> <p>【評価】</p> <p>①アサガオ親の会に参加することで、不登校の子を持つご家族や、成人してひきこもり状態の方のご家族と関わる機会をもつことができた。</p> <p>②ひきこもり当事者の方とご家族を通じて間接的にもアプローチを試みる事が出来た。</p> <p>【課題】</p> <p>①継続してご家族を通じて、ひきこもり当事者の方と関わっていく。</p>
周知・啓発	<p>①近隣の高校・大学と情報共有や学校訪問を通じて事業を周知し、先生や学生の方と関わりや接点をもつ機会をつくる。</p> <p>②事業の名称、活動の内容について周知する。</p> <p>③潜在的な対象者が参加しやすいプログラム、イベントを実施する。</p>	<p>【実績】</p> <p>①本事業の愛称を事業利用の方達と考え、「Oneすてっぴあしや」という愛称とした。ロゴマークやパンフレットも新しく作成し、本事業を知ってもらえるように取り組んでいる。</p> <p>【評価】</p> <p>①愛称ができたことで、まずは名前から興味をもってもらえる機会が増加した。また、本事業利用者の方達も愛称ができたことで「Oneすてっぴあしや」の一員という役割をもってプログラムに参加できている。</p> <p>【課題】</p> <p>①本事業が広く認知されるために今後も継続して事業の周知を実施していく。</p>	<p>①ひきこもり状態の方やそのご家族向けの相談会を実施（年1回）</p> <p>②年に2回程度チームYoake（困窮）の取組内容を機関紙として発行を検討。</p> <p>③近隣の高校・大学と情報共有や学校訪問を通じて事業を周知し、先生や学生の方と関わりや接点をもつ機会をつくる。</p>	<p>【実績】</p> <p>①7/28に「ひきこもり・不登校からの一歩～家族とともに～」を実施し、36名参加された。</p> <p>②7/1にチームYoakeの機関紙Vol.1を発行。</p> <p>【評価】</p> <p>①相談会を実施することで、不登校やひきこもりに悩むご家族や当事者に相談窓口先を知ってもらえる機会につながった。また、ご家族との関係性や関わり方についても学ぶ機会になった。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も相談窓口や支援内容について周知していく。</p>
就労支援	<p>①ハローワーク担当者との就労支援について連携する。</p> <p>②他市の情報収集や情報共有を行い、連携を図る。</p> <p>③企業内の見学やちょっとしたお手伝いを通じて地域の企業とつながっていく。（草引き・植栽のお手伝い等）</p> <p>④畑作業の実施。</p> <p>⑤対象者のニーズに応じて必要とするプログラムの実施。</p> <p>⑥コープこうべめーむひろばを保健福祉センターで実施。</p> <p>⑦就労に向けたPC操作等のプログラムの充実を図る。</p> <p>⑧対象者のニーズに合わせてボランティア体験や就労体験先を開拓し実施する。</p>	<p>【実績】</p> <p>①市内企業のオフィス前花壇の草引きや植栽作業を月2回程度定期的に実施。</p> <p>②コープこうべの「めーむひろば」を福祉センターで毎週水曜日に実施。就労体験を経て就職につながったケースが3件あった。</p> <p>③畑作業を2箇所定期的に実施。（毎週水曜日・木曜日）1回あたり3～4名が参加している。</p> <p>【評価】</p> <p>①市内の企業や団体と定期的につながることができ、本事業参加者も就労に向けて、就労体験や企業のちょっとしたお手伝い等（草引き・植栽作業）で役割をもって参加できる機会が増加している。参加者からは「定期的に出る機会ができて体力がついた」「誰とも話すことが無かったので、こうやって人とつながることができてよかった。」という声を頂いている。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も対象者のニーズに合わせてながら参加してみたいと思える体験先を開拓していく。</p>	<p>①ハローワーク担当者との就労支援について連携する。</p> <p>②他市の情報収集や情報共有を行い、連携を図る。</p> <p>③企業内の見学やちょっとしたお手伝いを通じて地域の企業とつながっていく。（草引き・植栽のお手伝い等）</p> <p>④畑作業の実施。</p> <p>⑤対象者のニーズに応じて必要とするプログラムの実施。</p> <p>⑥コープこうべめーむひろばを保健福祉センターで実施。</p> <p>⑦就労に向けたPC操作等のプログラムの充実を図る。</p> <p>⑧対象者のニーズに合わせてボランティア体験や就労体験先を開拓し実施する。</p>	<p>【実績】</p> <p>①保健福祉センターでの「めーむひろば」の就労体験を経て3人が就労につながった。</p> <p>②ハローワークに同行訪問し、担当者や連携しながら求人の検索や履歴書作成、面接練習を実施。1名就労につながった。</p> <p>③他市の事業担当者や情報収集・共有の場を設け、連携を図った。</p> <p>【評価】</p> <p>①保健福祉センターでの「めーむひろば」に参加することで次のステップに進むことが出来たり、就労につながることができた。定期的に就労体験ができる場があることで、参加者の方の外に出るきっかけになっている面がある。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も就労体験ができる場の確保や地域の企業とのつながりを継続していく。</p>
相談支援体制の機能強化	<p>①定例支援調整会議、事例検討会への参加。</p> <p>②就労支援センター全体会議への参加。</p> <p>③芦屋市民生児童委員協議会への参加</p> <p>④若者相談センターアサガオとの連携</p> <p>⑤ひょうご発達障害者支援センター「クローバー芦屋ランチ」と連携し、情報共有を図る。</p> <p>⑥外部研修への参加</p> <p>⑦事例検討会への参加</p> <p>⑧自立相談支援事業と情報の共有を行い、該当者への支援や本事業の利用促進に努める。</p> <p>⑨阪神南障害者就業・生活支援センター相談者の障がい者手帳の有無などを共有して支援する。</p>	<p>【実績】</p> <p>①自立相談支援事業や関係機関と連携することで、新規6件の本事業利用につながった。</p> <p>【評価】</p> <p>①関係機関に就労準備支援事業のつどい場「くろまつ」、「寄ってカフェ」「農作業」「就労体験」等のプログラム内容の認知が少しずつ広まり、対象者に情報提供する機会が増加した。</p> <p>【課題】</p> <p>①本事業を活用してもらえるように継続して関係機関と連携していく。</p>	<p>①定例支援調整会議、事例検討会への参加。</p> <p>②就労支援センター全体会議への参加。</p> <p>③社会福祉協議会（地域福祉係等）と連携し、地域のボランティアグループや地域住民の方とのつながりをもつ。</p> <p>④若者相談センターアサガオとの連携</p> <p>⑤ひょうご発達障害者支援センター「クローバー芦屋ランチ」と連携し、情報共有を図る。</p> <p>⑥外部研修への参加</p> <p>⑦事例検討会への参加</p> <p>⑧自立相談支援事業と情報の共有を行い、該当者への支援や本事業の利用促進に努める。</p> <p>⑨阪神南障害者就業・生活支援センター、障がい者相談支援事業と連携を図る。</p>	<p>【実績】</p> <p>①定例支援調整会議、事例検討会への参加。</p> <p>②自立相談支援事業や関係機関との情報共有。</p> <p>【評価】</p> <p>①継続して関係機関に就労準備支援事業のつどい場「くろまつ」、寄ってカフェ」「農作業」「就労体験」等のプログラム内容の認知が少しずつ広まり、対象者に情報提供する機会が増加した。</p> <p>【課題】</p> <p>①情報提供する機会は増加したが、継続して本事業を活用してもらえるよう関係機関と連携していく。</p>